

2024年6月29日 配信

2024年7月30日 改訂

2024年7月31日 改訂

JFA第48回全日本U-12サッカー選手権愛知県大会
兼 AIFA 第52回少年サッカー大会 2024 東三河予選 要項



1. 主催 (公財) 日本サッカー協会/読売新聞社
(公財) 日本体育協会日本スポーツ少年団
2. 主管 (公財) 愛知県サッカー協会 東三河地区協会 4種委員会
3. 後援 文部科学省/日本テレビ放送網/報知新聞社
4. 特別協賛 コカ・コーラ/YKK/花王
5. 協賛 日本オイリオグループ/日本マクドナルド/ゼビオ/ゆうちょ銀行
6. 協力 アディダスジャパン
7. 期日および会場

2024年9月7日(土) 1・2回戦(豊川市サッカー場 / 海陽多目的広場の2会場)

2024年10月6日(日) 代表決定戦(豊川市陸上競技場)

注意 1) 本大会のチーム代表 7 チームが県大会(11/11~)へ参加する。

※県リーグの 2 チームは代表決定。よって第 3 代表~第 7 代表までを決定する。

注意 2) 大会期間中の学校行事は、分かり次第 小学校名・選手名・行事名を東三河リーグ戦担当長 白井に連絡すること(参加状況確認書の再提出にてご連絡願います)。

8. 参加資格

- ①2024 年度東三河地区 U-12 リーグもしくは愛知県リーグに参加しているチーム及び選手とする。
かつ、2023 年度東三河地区 U-11 リーグ参加したチーム。
- ②複数チームの申込可。その場合はエントリー表ファイルを複写し作成する。
- ③複数チームで申し込む場合は、同一チームの認識とする。
ただし、エントリー締切り後の選手の入替え・追加等は認めない。
- ④複数チームで申し込む場合は、監督・帯同審判員を兼ねることは出来ない(コーチは重複可)。
ただし、当日の運営に支障をきたさない場合は、帯同審判員を兼ねることも可とする。
※例：Aチームにて監督登録した指導者はBチームの監督及びコーチの登録は出来ない。
- ⑤複数チームで申し込む場合は、チーム名に A・B・C……と表記する。
A・B・C によるチーム構成に関して大会本部は関知しないが 4 年生未満のみでチーム編成しない。
- ⑥大会参加者は必ずスポーツ安全保険等に加入しておく。加入のない者は参加できない。
- ⑦チーム及び選手は9月2日までに Web 登録完了(2 次承認後の登録費支払いを完了)している者とする。
※「最終承認」の状態とする事。
- ⑧各チームの登録選手は、原則として JFA 発行の選手証(2024 年度登録版)を持参すること。

(公財) 愛知県サッカー協会 東三河地区協会 4種委員会

(申込チーム毎のエントリー表記載の選手のみが印刷されている事) を持参すること。

(スマートフォンやタブレット、モバイル PC 等の電子デバイスなどで提示は不可。)

※「選手証」・「選手登録一覧表」とは JFA の WEB 登録システム「KICOFF」から出力した選手証・選手登録一覧表を印刷したものを示す。

ただし、写真(各種証明書写真同等の顔サイズ)貼付けにより顔の認識が出来るものであること。

9. 大会形式

①試合時間は 40 分(前後半 20 分)とする。

②トーナメント方式 を採用

時間内に勝敗が決しない場合は PK 戦(ペナルティーシュートアウト、3 名)を行う。

準決勝・3 位決定戦において同点の場合は、5 分-5 分の延長戦を行なう。

それでも決しない場合は PK 戦(3 名)により決定する。

PK 戦(3 名)で決しない場合は、サドンデスで決定する。

注意 3) 試合終了し、ペナルティーマークからのキックを行なう前に、一方のチーム競技者が相手チームより多い場合、競技者の多いチームは相手競技者数と等しくなるように競技者数を減らさなければならない。チームの監督は、除外する競技者の背番号を主審に通知しなければならない。これによって、除外された競技者はペナルティーマークからのキックに参加することはできない。

注意 4) ペナルティーマークからのキック時に試合終了時のフィールドプレーヤーがゴールキーパーを行なう場合のゴールキーパーユニフォーム(上着のみ)【出場選手の登録番号以外でも可とする。またエントリー表に未登録の番号でも可とする。】を着用しなければならない。交代したゴールキーパーは登録された選手番号のフィールドプレーヤーユニフォーム(上着のみ)を着用しなければならない(この場合のシャツ・パンツは GK 用でも可)。

10. 競技規則

本大会競技規則は IFAB によって制定された サッカー競技規則 2023/24 年及び (公財)日本サッカー協会 8 人制サッカー競技規則に準ずる。

ただし、上記競技規則に準じていない項目に関しては、本大会要項にて明記する。

かつ本大会要項の「24. 最終判断および決定」に準ずる。

11. 競技時間

①試合時間は前・後半とも 20 分間とし、ハーフタイム(前半終了の笛から後半開始まで)は 10 分以内とする。

②規定の試合時間内に勝敗が決しない場合、PK 戦により勝者となるチームを決定する。

ただし、代表決定戦は 前・後半 5 分ずつの延長戦を行い、なお決しない場合はペナルティーマークからのキックにより勝者となるチームを決定する。

延長戦はハーフタイムを設けず、コートチェンジのみ行なう。

③延長戦に入る前のインターバルは 5 分、PK 戦に入る前のインターバルは 3 分とする。

12. 競技者数

- ①試合登録選手は最大 16 名とし選手交替は 8 名（自由な交替を採用）までとする。
- ②チームの競技者のうち 1 名はゴールキーパーとする。
- ③本大会において試合開始の最低競技者数は 6 名（GK を含む）とする。満たない場合は不戦敗とする。
- ④上記③において対戦相手は、競技者数を合わせる必要はない。
- ⑤最低競技者数 6 名（GK 含む）に満たない場合は、不戦敗とする。試合中の怪我等で 6 名に満たなくなった場合も没収試合とし、不戦敗とする。
- ⑥エントリー時の選手登録人数は 8 名以上でなければならない。

13-1. 競技者の用具（ユニホームについて）

- ①ユニフォームについては正副 2 着 4 色（シャツ・ショーツ・ソックス、フィールドプレーヤー・ゴールキーパー）をエントリー表に記載し各試合必ず携行すること。試合は参加申込時に登録されたユニフォームを使用することを原則とする。
正副の 4 色については明確に異なる色とし、同系色の使用は避けること。
- ②チームのユニフォーム（ゴールキーパーのユニフォームを含む）のうちシャツの色彩は、審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。
- ③新規選手等により同デザインのユニフォームが廃止されている場合は、類似デザインの同色は可とする。
上記③は、事前にリーグ戦担当長白井に連絡し監督会議及び抽選会に旧デザイン・新デザインを持参し承認を得たものに限る。
- ④アンダーシャツ及びアンダーショーツタイツの色は問わない（ライン入りは不可）。
チーム内で同色のものを着用する
GK については、GK ユニフォームの袖またはパンツと同色の物の着用も可とする。
（チーム内でアンダーシャツ・アンダーショーツ及びタイツの着用・未着用の混在も可とする。）
- ⑤GK で出場する選手は、GK ユニフォームのシャツを必ず着用すること。
ショーツおよび、ソックスについては、FP 用・GK 用いずれの着用も認める。
- ⑥GK の選手番号については、出場選手の登録番号以外でも可とする。また、エントリー表 に未登録の番号でも可とする。ただし、選手交代時に補助審に氏名および登録番号の確認を受けること。
（例えば、選手番号「1」の GK ユニフォームを他の選手番号の選手が着用 して出場しても良い。）
- ⑦GK から交代した選手が FP として出場する場合は、登録した選手番号の付いたユニフォームを着用すること。（GK の選手番号と FP の選手番号が被ることも可とする。）
また、パンツ・ソックスについては FP 用を着用する。
- ⑧FP 用シャツの前面・背面には、参加申込の際に登録した選手番号を付けること。
- ⑨GK 用シャツについては、登録した選手番号または未登録の番号でも可とする。
- ⑩選手番号については、参加選手ごとに大会に登録されたものを使用する。
- ⑪ユニフォームの色、選手番号の参加申込締め切り以後の変更は認めない。

【※選手番号：通称「背番号」のこと】

※「ユニフォーム規定」(JFA/AIFA の HP に掲載)に準じたユニフォーム対応をお願いいたします。

13-2. 競技者の用具（その他）

- ①すべての装身具（ネックレス、指輪、ブレスレット、イヤリング、皮革でできたバンド、ゴムでできたバンドなど）は禁止されており、外さなければならない。
※長髪な選手が髪を後ろで束ねるためのヘアゴムやゴム製ヘアバンドは可とする。
装身具をテープで覆うことは、認められない。
ヘッドギア、フェイスマスク、また膝や腕のプロテクターなど危険でない保護用具で、柔らかく、軽いパッドが入った材質でできているものは、ゴールキーパーの帽子やスポーツめがね（柔らかい素材で出来た物）同様に認められる。
- ②選手の靴は、サッカーシューズもしくはトレーニングシューズを着用とする。
- ③選手は、すね当てを着用すること。
- ④ソックスにテープまたはその他の材料のものを貼りつける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。

14. 交代手続き

- ①交代して退く競技者は、交代ゾーンからフィールドの外に出る。
- ②交代要員は、交代ゾーンからフィールドに入り競技者となる。
必ず退く競技者がフィールドの外に出てから、交代要員はフィールドに入る。
- ③交代は、ボールがインプレー・アウトオブプレーにかかわらず行なうことができる。
- ④交代は、主審・補助審判の承認を得る必要はない。
- ⑤ゴールキーパーは、事前に主審に通知した上でボールがアウトオブプレーの時に入れ替わることができる。

注意 5) 交代で退く競技者が負傷している場合は、主審の承認を得た上でフィールドのどこからでも離れてもよい。

15. 負傷者への対応

- ①主審が認めた場合のみ、最大 2 名のチームスタッフがピッチへの入場を許可される。
- ②負傷者への対応・ベンチコントロールが同時に発生するため、チームスタッフが最低 2 名ベンチ入りすることが望ましい。
チームスタッフのベンチ入りが 1 名の場合は、負傷者への対応を優先すること。

16. テクニカルエリアおよびベンチ

- ①便宜的にテクニカルエリアを設置することとする。
- ②ベンチには原則として監督 1 名、コーチ 2 名、控え選手 8 名のみ入ることができる。控え選手は、ピブス（自チームフィールドプレーヤーユニホームシャツと異なる色、色は揃っていなくても可）または練習着等（自チームフィールドプレーヤーユニホームシャツおよび対戦相手チームフィールドプレーヤーユニホームシャツのどちらとも異なる色、色は揃っていなくても可）を着用する事。
- ③監督もしくはコーチのいずれか 1 名が、その都度、戦略的指示を伝えることができる。

- ④子どもたちへの大会参加を配慮し、ベンチ入りは登録上限の16名を超えて23名まで可能とするが登録選手（16名）以外は出場できない。（参加申込締切以降の選手の入替え・追加等は認めない。）上記の場合には、事前にリーグ戦担当長白井に連絡し参加申込締切りまでに23名用のエントリー表を提出すること。
- ⑤必ず指導者ライセンス（JFA認定D級ライセンス以上）保有者がベンチ入りすること。WEBにて指導者ライセンス証（顔写真付き）を作成（プリントアウト）し大会本部に提示をすること（スマートフォンやタブレット等の電子デバイスなどで提示も可とする）。

17. 試合球

対戦チーム持参による4号球（空気圧は、0.6～1.1気圧）を使用する。

18. 審判員

- ①1人の主審と補助審判が指名される。
- ②4級以上の有資格者が行うこととする。審判員はWEBにて審判証（顔写真付き）を作成（プリントアウト）し大会本部に提示をすること（スマートフォンやタブレット等の電子デバイスなどで提示も可とする）。
- ③審判割り振りは対戦表にて掲載する。
- ④審判服は黒色を着用し、資格者証（ワッペン）を胸に表示すること。
- ⑤靴はサッカーシューズもしくはトレーニングシューズを履くこと。
- ⑥装身具については、「13-2. 競技者の用具（その他）①項」と同様とする。

注意6) 各チーム原則として2名の審判員（有資格者）を帯同させること。ただし、大会スケジュール確定後、チームによっては1名の帯同審判でも可能な場合はこの限りではない。

注意7) 主審・補助審判は、試合開始前に競技者全員のチェック（靴・すね当て名前・背番号）を行なう。

19. 警告退場

- ①競技者が退場を命じられた場合は、その競技者のチームは交代要員の中から競技者を補充することができる。
 - ②主審は競技者が補充されようとしている間は、試合を停止する。
 - ③本大会において退場を命じられた競技者・指導者は、次の1試合に出場できない。
 - ④本大会の異なる試合において警告を累計2回受けた競技者・指導者は、次の1試合に出場できない。
- 注意8) 退場命じられた競技者・指導者は、競技のフィールド周辺およびテクニカルエリア周辺から離れなければならない。ただし、指導者が1名の場合で、その指導者が退場を命じられた場合は、選手の救護対応（試合中の選手の体調不良・怪我等）のみを目的として補助審判の裏に残る事を許可するが、戦略的指示等は一切行えない。
- ⑤東三河地区大会における「警告」「退場」については、上位大会へ持ち越しとなる。

（公財）愛知県サッカー協会 東三河地区協会 4種委員会

20. 懲罰

- ①本大会は、大会規律委員会を設ける。
- ②本大会規律委員会の委員長は東三河地区協会 4 種委員長とし、委員の任命については 4 種委員長が決定する。
- ③本大会期間中に警告を 2 回受けた者は、次の 1 試合に出場できない。
- ④本大会に於いて退場を命じられた選手は、自動的に次の 1 試合に出場できない。
- ⑤帯同審判員がない場合は規律委員会の審議対象となる。
- ⑥指導者ライセンス（JFA 認定 D 級ライセンス以上）保有者がベンチ入りしない場合は、不戦敗とし規律委員会の審議対象となる。
試合中の退席等により指導者ライセンス（JFA 認定 D 級ライセンス以上）保有者が不在になった場合は、規律委員会の審議対象となるが試合は続行・成立するものとする。
- ⑦いかなる不正行為も規律委員会の審議対象となる。
- ⑧本大会要項に記載事項のない懲罰に関する事項は、大会規律委員会にて決定する。
補足）基本的な考え方として、選手が受ける懲罰はゲーム中の警告・退場であり、チーム運営等にかかる懲罰に関してはチーム代表者もしくはチームスタッフが負うべきであり、そのことによって「子どもたちのサッカーをする権利および機会」を奪うものではない。

21. エントリー表送付先

- ①送付先：東三河地区協会リーグ戦担当長 白井までメールで提出すること。
- ②提出期限：7月9日（火）19：00 必着。それ以降のエントリーは受け付けない。
- ③エントリー表の書式は規定の書式（Excel 版）で提出すること。書式の変更不可。
※ファイル名の【チーム名】のカッコ内に変更し提出してください。
- ④その他、本大会な不明な点については、リーグ戦担当長白井に連絡すること。

22. 監督会議及び抽選会

- ①日 時：8月3日（土）19：20～（開始時間が前後する可能性があります。）
- ②場 所：豊川市 御津文化会館・研修室（豊川市御津町広石日暮 146 番地）
- ③各チームから代表 1 名のみ必ず出席する。1 名で複数の抽選をすることはできない。
- ④父母の代理出席は認めない。（大会組合せ、会場・審判上の諸注意等を行うため。）
- ⑤保護者の代理出席しか都合のつかない場合は、事前に権田委員長に連絡をすること。

23. 大会参加料

- 1 チーム 3,000 円（監督会議時に徴収いたします）

24. 最終判断および決定

本大会の実施に関して、競技規則および本大会要項に定めのない事項については、東三河地区協会 4 種委員会が最終的に判断・決定するものとする。

25. 連絡先

- ①権田委員長 tel：090-5244-0503
- ②浦野競技委員長 tel：090-4790-7366
- ③夏目審判委員長 tel：090-3253-5366
- ④白井リーグ戦担当長 tel：090-8130-4109

注意 9) 上記①②③④は、個人情報のため取り扱いにご注意下さい。

26. 大会運営時の注意事項

<大会本部への提出・確認に関して>

- ① 選手は事前にツメを短くしてください。
- ② 試合開始 30 分前までに選手およびコーチは大会本部にて選手証、指導者ライセンス証およびサブユニフォームの確認をしてもらうようにしてください（試合に出る服装・用具にて）。
- ③ 試合開始 30 分前までにエントリー表（スターティングメンバー及び着用するユニフォーム色に○・試合会場及び対戦相手を記載する）1 部大会本部に提出して下さい。

注意 10) サブユニフォームは色の確認をしますので（番号の指定はありません）
FP および GK の両方のサブユニフォームを持参して下さい。

<審判に関して>

- ① 審判員の方は、試合前に大会本部にて該当試合のチーム確認及び結果報告書・エントリー表の受け取りを行なって下さい。
- ② 審判員の方は、試合開始 15 分前までに大会本部にて審判証を提示して下さい。
- ③ 試合終了後は速やかに、大会本部に試合結果（「結果報告書」にてスコア・得点時間・得点者・警告者等を報告して下さいの提出）。
- ④ 大会毎に会場での審判打合せがある場合は、審判を行なう方が必ず出席して下さい。

<ユニフォームの選択に関して>

- ① 組み合わせ表の左側チーム(又は上)がメインユニフォームを着用することを原則とします。
- ② 対戦チームの着用する色が重複しなければ、①の限りではありません。
- ③ 上記②において、審判がユニフォームの色の判別が難しいと判断した場合は審判の指示に従ってください。

注意 11) 事前に対戦チーム同士で協議を行なって下さい。

<試合前・試合中のアップに関して>

- ① 試合前および試合中のアップは、試合の妨げにならない場所にてお願いいたします。
 - ② 試合と試合のインターバルは、次の試合のチームのみピッチ内にてアップ可能ですが、キックオフの遅延にならないように審判の指示に従い、速やかに準備・整列をお願いいたします。
 - ③ ハーフタイム時のアップは試合中のチームの（控え）選手のみピッチ内にてボールを使用可能ですが、後半戦開始の妨げにならないように行なって下さい。
 - ④ 試合中、控え選手のベンチサイドでのアップは、ボールを使用せずに行なって下さい。
- 注意 12) アップ場所が指定されている場合は、厳守して下さい。

<選手の飲水について>

- ① ピッチの外側に飲料水を適宜置くことを、可とします。
- ② WBGT 値により飲水タイムを適用する場合がありますが、飲水タイム（アディショナルタイム 約 1 分）に選手がタッチライン外側に出ることなく素早く飲水できるような準備に努めて下さい。選手が素早く飲水するためにタッチライン外側に出た方が早い状況もありますので、臨機応変に対応して下さい。
- ③ 上記②の飲水タイムおよびクーリングブレイク適用時においても、選手がプレー中に必要な場合は飲水を可とします。

<保護者に関して>

- ① 保護者の応援は節度ある応援に努めるよう各チームのご指導をお願いいたします。
- ② 保護者応援に関しては、各チームの管理下であり大会本部は指導・注意する立場にありません。ただし、あまりにもモラルなき応援の場合は、しかるべき対応を取る場合がある事をご理解ください。
- ③ 保護者の言動については、各チームが責任を持って指導・管理を行なって下さい。トラブルが発生した場合、協会として事実確認等の聞き取りは実施しますが、トラブル自体の解決は当事者同士となりますので、予めご了承下さい。

<選手へのコーチングに関して>

テクニカルエリア（便宜的）にてコーチが戦略的指示をすることは認められていますが、選手に対する暴言（＝言葉の暴力）は認められていませんので、ご注意ください。JFA では暴力根絶を掲げて活動をしていますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

<選手の移籍に関して>

日本サッカー協会は「アマチュア選手の移籍に関する手続きの理解、促進および大会要項等の出場資格の適正化に向けて」を報告し、基本的な考え方として「移籍した選手は協会が移籍を承諾した日から公式試合に出場する権利を有する。」と明記してあります。

よって、本大会においても選手の移籍期間に何ら制限を加えるものではありませんが、常識として参加申込時に本大会参加予定チームへの移籍が完了していることとします。

また、移籍元および移籍先のチーム代表者は、移籍がスムーズに行われるよう迅速に手続きをしてください。

<試合中に頭部を強打した場合の対応について>

各チームの指導者は脳震盪が疑われる場合について選手の安全を第一に考え、該当選手を一旦ベンチに下げ、[SCAT5.pdf \(ifa.jp\)](#)（別紙）に基づいたチェックを行い適切に対処する。

《 重要事項 》

個人情報保護法に伴い、「エントリー表」及び「新聞紙上」への選手個人の氏名・登録番号（エントリー表のみ）・背番号・ポジション等の掲載について、選手本人と保護者の承諾を必ずとってください。

承諾が得られない場合は、その旨をエントリー表に記入し、別紙にて報告してください。

なお、本エントリー表は、大会終了後、4種委員会にて責任を持って処分いたします。

ご協力の程よろしくお願いいたします。

以 上

脳振盪を疑ったときのツール（CRT 5[®]）

こどもから大人まで 脳振盪を見逃さないために



脳振盪を疑ったら、速やかにプレーを中止する

頭を打つと、ときに命にかかわるような重い脳の損傷を負うことがあります。このツールは、脳振盪を疑うきっかけになる症状や所見についてご案内するものですが、これだけで脳振盪を正しく診断できるわけではありません。

ステップ1：警告－救急車を呼びましょう

以下の症状がひとつでもみられる場合には、選手を速やかに、安全に注意しながら場外に出します。その場に医師や専門家がいない際には、ためらわずに救急車を呼びます。

- くびが痛い／押さえると痛む
- ものがだぶって見える
- 手足に力が入らない／しびれる
- 強い頭痛／痛みが増してくる
- 発作やけいれんがある
- 一瞬でも意識を失った
- 反応が悪くなってくる
- 嘔吐する
- 落ち着かず、イライラして攻撃的

注意

- 救急の原則（安全確保>意識の確認>気道／呼吸／循環の確保）に従う。
- 脊髄損傷の有無を早期に評価することはとても重要。
- 応急処置の訓練経験がない人は、（気道確保の際を除き）選手を動かさない。
- 応急処置の訓練経験がない人は、ヘルメットなどの防具を外さない。

ステップ1の症状がなければ、次のステップに進みます。

ステップ2：外から見てわかる症状

以下の様子が見られたら、脳振盪の可能性あります。

- フィールドや床の上で倒れて動かない
- 素早く立ち上がれない／動きが遅い
- 見当違いをしている／混乱している／質問に正しく答えられない
- ボーっとしてうつろな様子である
- バランスが保てない／うまく歩けない
- 動きがぎこちない／よろめく／動作が鈍い／重い
- 顔にもけがをしている

ステップ3：自分で気がつく症状

- 頭が痛い
- 頭がしめつけられている感じ
- ふらつく
- 嘔気・嘔吐
- 眠気が強い
- めまいがする
- ぼやけて見える
- 光に過敏
- 音に過敏
- ひどく疲れる／やる気が出ない
- 「何かおかしい」
- いつもより感情的
- いつもよりイライラする
- 理由なく悲しい
- 心配／不安
- 首が痛い
- 集中できない
- 覚えられない／思い出せない
- 動きや考えが遅くなった感じがする
- 「霧の中にいる」ように感じる

ステップ4：記憶の確認（13歳以上の選手が対象です）

以下の質問（種目により修正が可能です）に全て正しく答えられないときは、脳振盪を疑います。

- 今日はどこ競技場／会場にいますか？
- 今は試合の前半ですか、後半ですか？
- 先週／前回の対戦相手は？
- 前回の試合は勝ちましたか？
- この試合で最後に点を入れたのは誰ですか？

脳振盪が疑われた場合には…

- 少なくとも最初の1～2時間は、ひとりきりにしてはいけません。
- 飲酒は禁止です。
- 処方薬も市販薬も、原則として飲んではいけません。
- ひとりで家に帰してはいけません。責任ある大人が付き添います。
- 医師からの許可があるまで、バイクや自動車を運転してはいけません。

このツールはこのままの形であれば、自由に複写して個人やチーム、団体、組織に配布していただいてもかまいません。ただし、改訂や新たな電子化には発行元の許可が必要で、いかなる内容変更も再商標化も販売も禁止です。

脳振盪が疑われた場合には、競技や練習をただちに中止します。たとえすぐに症状が消失したとしても、医師や専門家の適切な評価を受けるまで、プレーに復帰してはいけません。

© Concussion in Sport Group 2017

(日本語版作成：日本脳神経外傷学会 スポーツ脳神経外傷検討委員会)